

# 西部地域支え合い 協議会だより



令和4年10月1日発行  
発行 西部地域支え合い協議会  
発行責任者 小川 光昭  
鶴ヶ島市西市民センター1階  
☎・fax 049-214-4005

## 令和4年度西部地域支え合い協議会の活動状況

会長 小川 光昭



西部地域支え合い協議会の令和4年度前半の活動は、新型コロナウイルスの感染拡大によりまして「助け合い隊・協議会だより発行」等一部の活動にとどまりました。後半につきましても同様に状況が好転し、皆様方と安心して集えるようになるまでは、前半同様に活動を自粛させていただきます。

今回は、飯能県土整備事務所 実施予定一覧（鶴ヶ島市分）の資料が入手できましたので、その内容をお知らせいたします。

| 令和4年度飯能県土整備事業所実施予定（鶴ヶ島市分） |           |  |
|---------------------------|-----------|--|
| 路線名等                      | 大字        | 事業内容・実施時期（予定）  |
| ①（仮称）<br>新川越越生線           | 中新田       | （終点側工区）<br>（都）新田通り線～県道日高川島線 工区延長 L=390m<br>東武越生線アンダーパス部前後区間における詳細設計、地元説明会<br>実施時期（予定） 令和4年5月～令和5年3月、令和5年度用地取得着手  |
|                           | 高倉        | （起点側工区）<br>国道407BP～新田土地区画整理事業区域 工区延長 L=760m<br>物件調査、用地取得<br>実施時期（予定） 令和4年6月～令和5年3月、令和5年度用地取得継続   |
|                           | （坂戸市、越生町） | 県道日高川島線～飯能寄居線BPの道路概略設計 設計延長 L=5.6Km<br>実施時期（予定） 令和3年6月～令和4年7月<br>令和4年度<br>・最適ルート案に関する課題及び協議項目抽出<br>・関係機関協議<br>令和5年度以降<br>・関係機関協議での課題を踏まえた道路予備設計<br>（県道日高川島線～飯能寄居線BP） |
| ② 国道407号                  | 高倉        | 関連道路整備（バイパス～圏央鶴ヶ島入り口交差点）<br>工事実施延長 L=300m 工事：令和4年4月～令和4年12月  |
|                           |           | バイパス整備（～高倉天神交差点） 工事実施延長 L=600m<br>用地補償6件（調整池用地含む）<br>実施時期（予定） 工事・用地とも 令和4年4月～令和5年3月  |
| ③ 川越越生線                   | 太田ヶ谷      | 新太田ヶ谷2号橋の耐震補強工事に係る埋設ケーブル移設と施工手順等の設計委託、耐震補強工事に向け、NEXCO等と調整しながら工事を推進する。<br>実施時期（予定） 令和4年4月～令和5年3月  |
| ④ 国道407号                  | 脚折町       | 舗装修繕<br>延長420m、幅員7.0m～8.0m<br>実施時期（予定） 令和4年6月～令和4年10月  |

資料：「ふれあい通信 Vol.72」より



## 細かな配慮と住民を思いやる姿勢

### —つるバス・つるワゴン—

町に出るとかわいい色のつるバス・つるワゴンを見かけることがよくあります。でも小さい体で毎日頑張っている彼らのことは、あまりよく知られていません。そこで今回は、市の都市計画課の交通政策担当の住石さんにお話をうかがってきました。

#### Q コミュニティバスと一般的な路線バスの違いは何ですか。

コミュニティバスに一般的な定義はありませんが、地域住民の利便性向上等のため、自治体を中心となって、既存の路線バス以外のバスを必要としている一定の地域に走らせるバスのことです。

運営方式は、自治体が事業主体の場合もありますが、自治体が運行費用の支援等を行うことにより、民間事業者が事業主体となって運行する場合があります。

#### Q 地域住民からはどのような要望が多いですか。

ルートへの延伸や停留所の増設、混雑時の増便に関する要望を多くいただいています。



#### Q つるバス・つるワゴンは事業者とどのような契約で運行しているのですか。

つるバス・つるワゴンは、民間のバス会社及びタクシー会社が運行事業者となって運行しています。

市は、つるバス・つるワゴンの運行事業者と協定書を締結し、運行に要する経費の損失分を補償しています。

#### Q 路線はいくつありますか。路線ごとの特徴や利用者数はどうなっていますか。

路線数等については、つるバスが1路線を小型バス2台で、つるワゴンが6路線をワンボックス車両6台（1路線1台）で運行しています。特に、つるワゴンは、路線とその路線を走行する車両の色が決まっています。

利用者数は、毎年増加傾向にありましたが、コロナ禍の影響により令和2年度は、前年度より約2割減となりました。令和3年度は、コロナ禍の影響前の数に戻り、今年度は過去最高のペースで、多くの方にご利用いただいています。

市役所、関越病院、商業施設を通る路線の利用者数が比較的多くなっている状況です。



#### Q 運転免許の自主返納を促進する対策は行っていますか。

市では、運転免許返納者の移動手段の確保を目的として、令和元年8月から、市内在住の70歳以上の高齢者については、特別乗車証を提示することで、つるバス・つるワゴン及び坂戸市のさかっちバス・さかっちワゴンを無料で利用できる環境を整えています。こうした高齢者への支援策が、運転免許の自主返納に繋がるものと考えています。

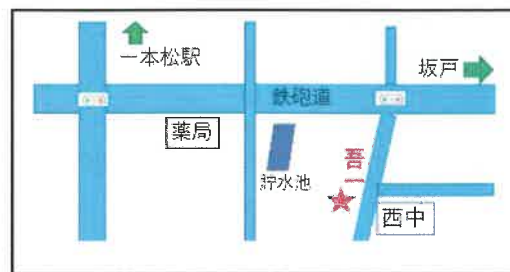
#### Q バスロケーションシステム「BusGO!」が導入されましたが、どのようなシステムですか。

「BusGO!」は、つるバス・つるワゴンの走行位置をPCやスマートフォンなどでリアルタイムに確認できるバスロケーションシステムです。

停留所で待っているとき、今どこまで来ているかなどをマップ上で確認することができます。

\* つるバス・つるワゴンのようなコミュニティバスには、誘い出しや、他のサービスへのつなぎ、見守りの機能などとも言われています。単に市民の足としての利便性以外にも、市民がコミュニティの中で楽しく暮らしていける一つのツールにもなり得ると思っています。市民の皆様もぜひ活用し、ご支援をお願いします。

10月号のありがとう券支援店紹介は、皆様に安らぎとおいしさを届ける2店です。ゆっくりと語らいをどうぞ。

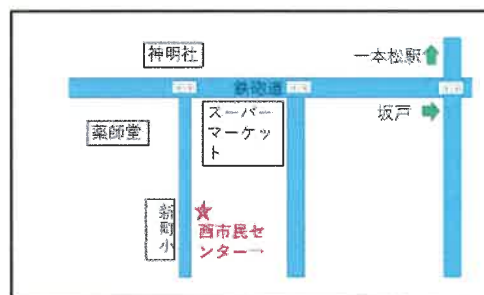


## 手打蕎麦切り 吾一 新町 1-3-6 ☎049-285-8814

新町にて開店以来22年、ごひいきいただきましてこうして長く営業させていただいております。北海道産蕎麦粉を使用し、**手打ちにこだわり**二八蕎麦を提供させていただいております。信州下條村特産、辛味大根そばや、ごまだれ付け汁蕎麦等が人気です。

コロナ等厳しい状況ですが専門店ならではの味を提供してまいりたいと思います。ぜひ機会がありましたら、ご来店をお待ちいたしております。

営業：月、火、木～日 11:30～14:30、17:30～21:00 水 11:30～14:30



## 福祉喫茶 よつば 新町 4-17-8 西市民センター内 ☎049-286-7899

「喫茶よつば」は、20年前、西公民館建て替えの時より営業を始めました。郷学の森として、公民館、児童館、図書館そして福祉喫茶の4つの役割があるとのことで、幸福の四つ葉を想い、「喫茶よつば」となりました。

センター利用の方々、地域の皆様方に沢山のご利用を頂き、スタッフ皆楽しく働くことができしております。

メニューも当初より充実し、食事の種類も増え、甘味も白玉ぜんざい、クリームあんみつなどご用意いたしております。

また、営業当初よりの**一押し！！ホットコーヒー**は、お客様のご注文を頂いてから豆を挽き、淹れております。20年変わらず淹れ立てコーヒーを召し上がっていただいております。『コーヒー美味しいですね☕』との言葉が、とても嬉しく感じております。

西市民センターにお出かけの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

営業：火～土 10:00～15:30

(ただ今コロナ対策の為、14:00までとなっております。)





## 西部地域歴史散策

—つるゴンと龍神様—

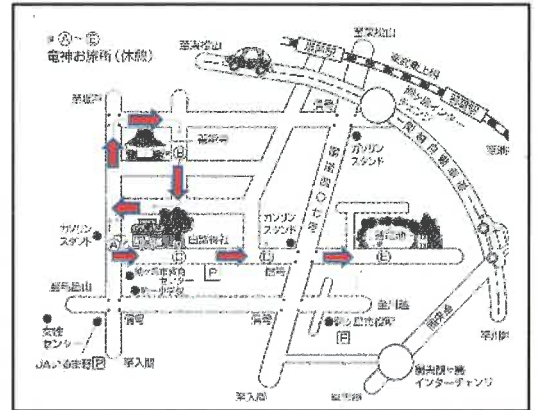


最近鶴ヶ島に越してきた方から、「鶴ヶ島のゆるキャラは、なぜ鶴ではなく緑色のワニなのですか?」という質問を受けました。鶴ヶ島市の公式イメージキャラクター(ゆるキャラ)は、平成19年に一般公募により命名された「つるゴン」で、鶴ヶ島市には「脚折(すねおり)雨乞」という伝統行事があり、その行事に出てくる龍蛇(りゅうだ)が「つるゴン」のモチーフです。『つる』は幸せを運ぶ『鶴』、『ゴン』は脚折雨乞をイメージした幸せを運ぶ『龍(ドラゴン)』を意味しています。

「つるゴン」は、鶴ヶ島市の特別住民ですし、ゆるキャラグランプリ2020 THE FINALで3位になるという荣誉に輝いた結構メジャーなゆるキャラです。

では、そのいわれとなった「脚折雨乞」という伝統行事について調べてみましょう。

鶴ヶ島付近では、日照りのとき、脚折の雷電池のほりにある雷電社(らいでんしゃ)の前で雨乞いをする**と必ず雨が降ると言われて**いました。しかし、寛永(1624~1644)の頃、この池の一部をうめたてて田んぼにしたため、雷電池にすんでいた大蛇が怒り、上州板倉(群馬県板倉町)にある雷電(らいでん)の池に移ってしまい、それ以後、雨乞いをして**も、雨が降らなくなりました**。明治7年、困った人々は、板倉神社の池の水を持ち帰り、雷電池に注いで、再び雨乞いを行ったところ雨が降ったと言われています。これが、現在の脚折雨乞行事の原型をなす逸話です。



白鬚神社を outletsした龍蛇は、善能寺に立ち寄り、雨乞い祈願を受け、雷電池へ行き、池の中で揉まれ、雨を折ります。

江戸時代から伝わる「脚折雨乞」の大きな特徴は、竹と麦ワラで長さ36m、重さ約3tの「龍蛇」と呼ばれる蛇体をつくって降雨を祈願することです。この龍蛇は、白鬚神社の宮司により「龍神」へと変化しますが、約300人の男がこの龍神を担ぎ、「雨降れたんじゃく、ここに懸かれ黒雲」と叫びつつ、神社から「雷電池」までの約2Kmの行程を練り歩きます。池の中で雨乞いをした後、最後に蛇体を解体しますが、これは聖地である雷電池を汚すことで、天にいるとされる龍神を激怒させ、その怒りで雨を降らせてもらうとされています。

実は、脚折雨乞は、行事の担い手である**専業農家の減少**など社会環境の変化により、昭和39年を最後に一度途絶えてしまいます(雷電池の湧水も、昭和48年頃をさかいに完全に枯れてしまい、現在の池の水はまったく人工のものです)。しかし、昭和50年に、雨乞の持つ地域の一体感を再認識した地元脚折地区住民が、「脚折雨乞行事保存会」を結成し、翌昭和51年、脚折雨乞を復活させました。この年に脚折雨乞は、「鶴ヶ島町指定無形文化財」に指定されました。また、平成25年、(財)地域活性化センター主催の「第17回ふるさとイベント大賞」において最高賞である大賞を受賞しました。

脚折雨乞行事保存会では、雨乞行事を実施するだけでなく、龍蛇の目や宝珠の竹細工の講習会等を定期的に行い、「技」の伝承にも力を注いでいます。

また、次世代への継承という観点から、小中学校で保存会会員が脚折雨乞について授業を行ったり、子どもたちが担ぐ「ミニ龍蛇」を作成したりと、後継者育成にも力を注いでいます。

自然の力を畏れながら祈る、そんな自然と一体だった先人たちの暮らし、そこで生まれた伝統行事を、私たちは後世に伝える必要があると思います。将来、鶴ヶ島市で育った子どもたちが「自分の故郷には脚折雨乞がある」と、誇りを持てるような行事を継承していきたいものです。

(追)自治体で行っているお祭りをモチーフに具現化したゆるキャラが今回のつるゴン。つるゴンはその最たるものと言えるのかもしれませんがね。立派に務めを果たして頑張っているつるゴンを、応援したいと思います。

